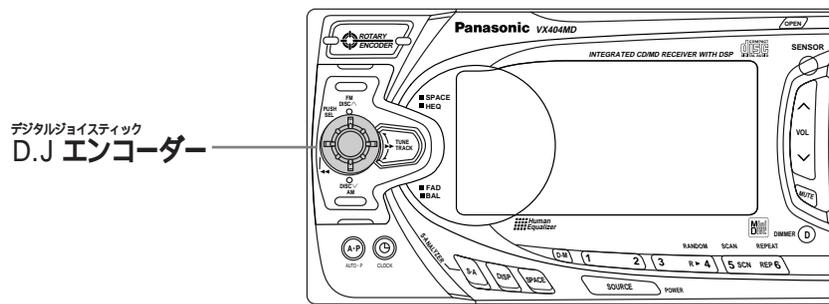


サウンド設定

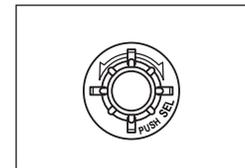


サウンドコントロールモードにする

モードセレクト

D.J. エンコーダー (SEL ボタン) を押す。
ボタンを押すごとに、モードが次のように切り替わります。

- ▶ 通常モード
- ▶ サウンドコントロールモード (P.38 ~ 45 参照)
- ▶ 機能コントロールモード (P.50 ~ 54 参照)



お知らせ

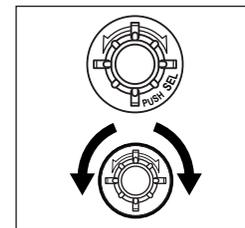
設定・調整の途中では通常モードのボタン操作ができませんので、いったん通常モードに戻してください。

サウンド設定の機能を選ぶ

サウンドコントロールモード

D.J. エンコーダー (SEL ボタン) を押してから、回す。
右に回すと、次のように切り替わります。(左に回す：逆回り)

- ▶ 通常モード
- ▶ HUMAN EQ : ヒューマンイコライザー (P.39 参照)
- ▶ GRAPHIC EQ : グラフィックイコライザー (P.40 参照)
- ▶ BAL//FAD : 前後左右の音量バランスを調整する (P.42 参照)
- ▶ POSITION SEL : 乗車位置に合わせた音像にする (P.42 参照)
- ▶ SUPER BASS : リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする (P.43 参照)
- ▶ SDBB SELECT : 低音域を増強する (P.44 参照)



お知らせ

各機能が表示されている間 (約10秒間) に次の操作をしないと、自動的に通常モードに戻ります。

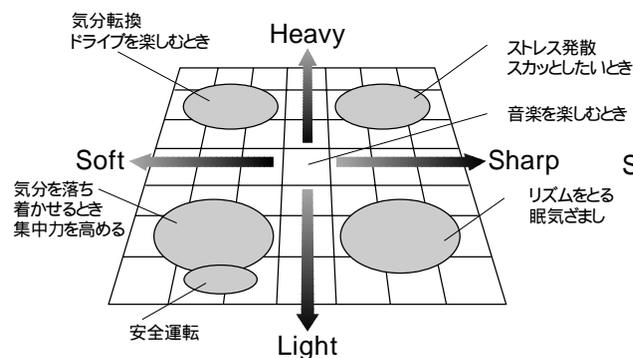
ヒューマンイコライザー

HEQ

HEQの音質調整には2つのモードがあります。HEQ設定で、どちらかに設定してください。(P.54 参照)

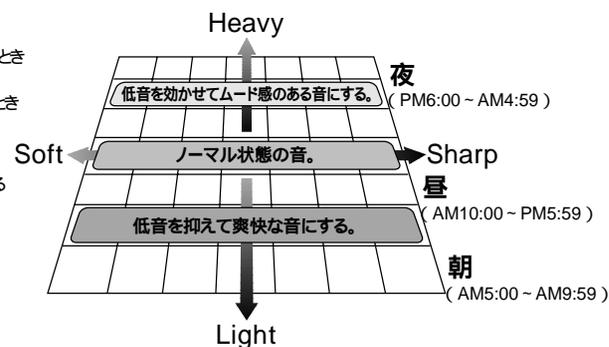
HEQ ノーマルモード

49パターンの中から音質を選べ、複雑なイコライザー調整が簡単にできます。音楽ソフトのジャンルや自分の気分にあった音質を設定してください。



HEQ DAY&NIGHTモード

朝・昼・夜の時間帯によって、音質が自動的に切り替わります。朝は低音を抑えて、夜は低音を効かせます。それぞれの時間帯で7パターンの中から音質を選べます。



センターをFLAT (0) とし、主に縦軸で低音域の豊かさ、横軸で高音域の明快さを調整します。

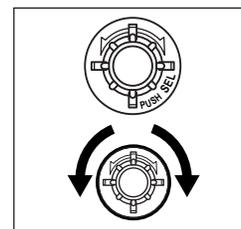
[初期設定: FLAT (0) 調整範囲: 各1~3 (49種類)]

調整は、横軸 (高音域の明快さ) のみとなります。

お知らせ

時計を調整されていないときは、DAY&NIGHTモードを選択できません。

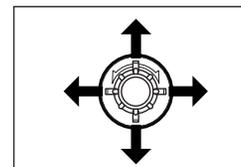
- ① 機能を“HUMAN EQ”にする。(P.38 参照)



- ② D.J エンコーダーを倒す。

- ↑ (HEAVY): 豊かな低音に変化する。
- ↓ (LIGHT): 軽快な低音に変化する。
- ← (SOFT): 柔らかな高音に変化する。
- (SHARP): 歯切れのよい高音に変化する。

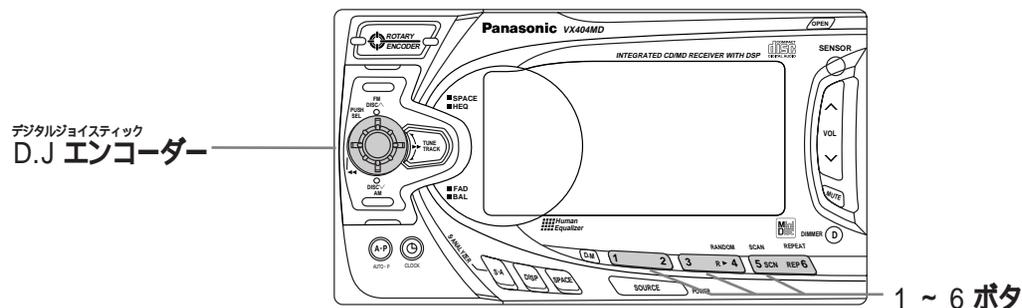
* 設定がDAY&NIGHTモードのときは、横軸の調整のみ。



- HEQ 表示部の中でカーソルが移動し、調整した位置で点滅します。
- 調整中は EQ インジケーターが点滅し、設定されると点灯します。

設定・その他

サウンド設定 (つづき)



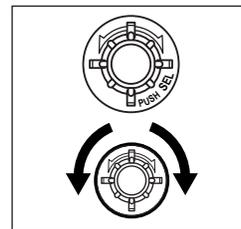
グラフィックイコライザー

GEQ

音質を周波数ごとに調整する

GEQ調整は、周波数の帯域ごとのレベル調整で、自分好みの音質を設定できます。
[初期設定：各周波数とも0 dB，調整範囲： - 12 dB ~ + 12 dB (2 dBごと)]

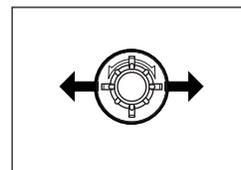
- ① 機能を“ **GRAPHIC EQ** ”にする。(P.38 参照)



- ② D.J. エンコーダーを左右に倒し、周波数を選択する。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

80 160 320 640 1.6 k 4 k 10 k (Hz)



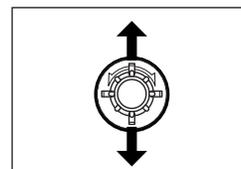
- カーソルが左右方向に移動し、選択している周波数が点滅します。

- ③ D.J. エンコーダーを上下に倒し、レベルを調整する。

↑ : レベルが上がる。

↓ : レベルが下がる。

カーソルが上下方向に移動し、調整したレベルで点滅します。



- ②③を繰り返して、各周波数のレベルを設定します。

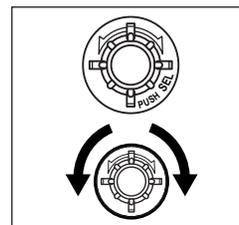
調整中はEQインジケータが点滅し、設定されると点灯します。

調整した音質をメモリーする

GEQメモリー

GEQ調整した音質（GEQカーブ特性）を，1～6ボタンにメモリーすることができます。
（6パターンまで可能）

- ① 機能を“**GRAPHIC EQ**”にする。（P.38 参照）



- ② 操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを，2秒以上押す。
 - 現在のGEQカーブ特性が，押したボタンにメモリーされます。
 - メモリーが完了すると，プリセットメモリー番号表示が点滅します。

例)



2秒以上押す

お知らせ

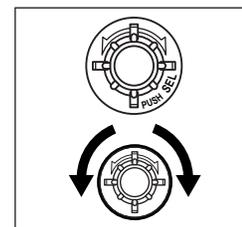
GEQメモリーをすると，前にメモリーされていたGEQカーブ特性が消去され，新しいGEQカーブを上書きします。

音質のメモリーを呼び出す

GEQメモリー呼び出し

メモリーしたGEQカーブ特性を，ボタン1つの操作で呼び出すことができます。

- ① 機能を“**GRAPHIC EQ**”にする。（P.38 参照）

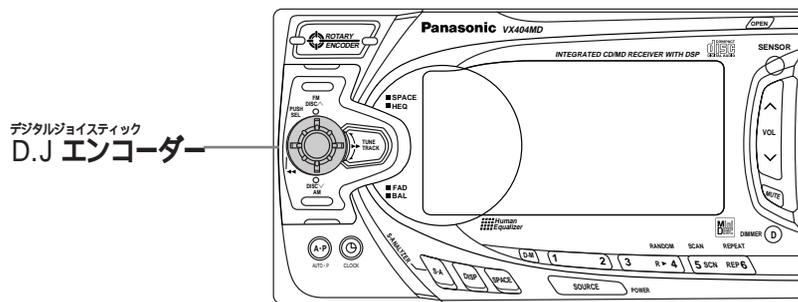


- ② 操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを押す。
メモリーされているGEQカーブ特性を呼び出します。

例)



サウンド設定 (つづき)



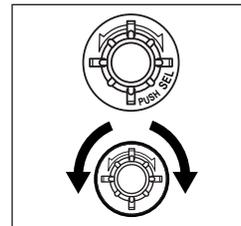
前後左右の音量バランスを調整する

バランス/フェダー

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

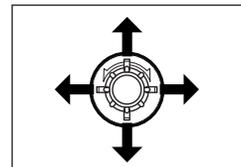
[初期設定 : CNT (センター) , 設定範囲 : 各15]

- ① 機能を “ BAL//FAD ” にする。(P.38 参照)



- ② D.J エンコーダーを上下左右に倒して音量レベルを調整する。

- ↑ (FRONT) : 前を強調する。
- ↓ (REAR) : 後ろを強調する。
- ← (LEFT) : 左を強調する。
- (RIGHT) : 右を強調する。

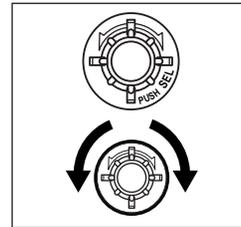


乗車位置に合わせた音像にする

ポジション

乗車位置や人数に合わせて、音像を聴く人のいる位置に調整することができます。[初期設定 : OFF]

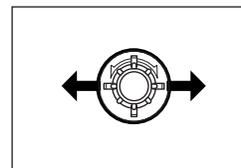
- ① 機能を “ POSITION SEL ” にする。(P.38 参照)



- ② D.J エンコーダーを左右に倒す。

右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す : 逆回り)

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| OFF (全席) | RIGHT (前席右) | LEFT (前席左) |
| REAR (後席) | | FRONT (前席) |



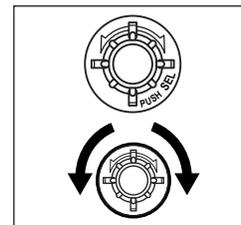
リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする

スーパーベースコントロール・サブウーファー (SBC-SW)

内蔵アンプ接続のリヤースピーカーをサブウーファーとして活用し、重低音が楽しめます。

[初期設定：SBC-SW OFF]

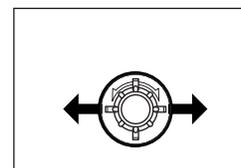
- ① 機能を“**SUPER BASS**”にする。(P.38 参照)



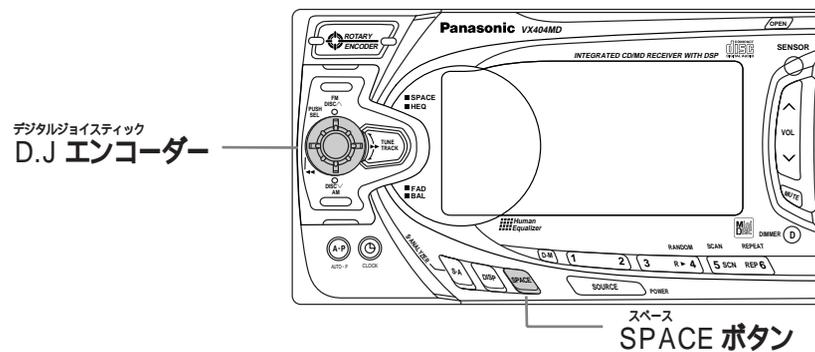
- ② D.J エンコーダーを左右に倒す。

右に倒すごとに、次ように切り替わります。

- ▶ SBC-SW OFF : 高音域をカットしない通常のステレオ出力
- SBC-SW FLAT : 高音域をカットしない通常のモノラル出力
- SBC-SW 100 : 100Hz以上の高音域をカットします(モノラル出力)
- SBC-SW 150 : 150Hz以上の高音域をカットします(モノラル出力)
- SBC-SW 200 : 200Hz以上の高音域をカットします(モノラル出力)



サウンド設定 (つづき)

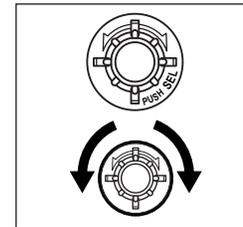


低音域を増強する

スーパーダイナミックバスブースト (SDBB)

内蔵アンプ接続の4スピーカーから出力される低音域を増強して、重低音が楽しめます。
[初期設定：SDBB OFF]

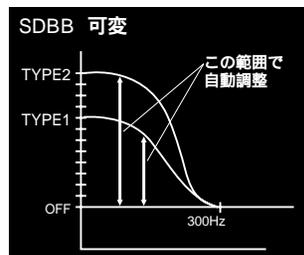
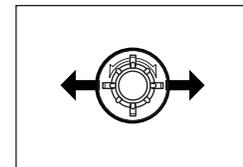
- ① 機能を“SDBB SELECT”にする。(P.38 参照)



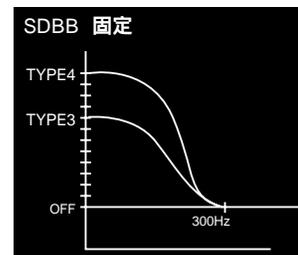
- ② D.J. エンコーダーを左右に倒す。

● 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

- ▶ SDBB OFF : 通常ステレオ出力 (低音域を増強しない)
- SDBB TYPE 1 : 可変・弱
- SDBB TYPE 2 : 可変・強
- SDBB TYPE 3 : 固定・弱
- SDBB TYPE 4 : 固定・強



低音入力レベルに合わせてバランスよく調整され、常に最適レベルの重低音を自動的に出力します。



とにかく迫力のある低音が欲しいときに使用します。強/弱が選択できます。

音場を再現する

SPACE (スペース)

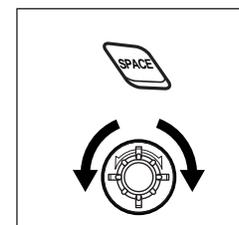
実際に演奏会場にいるような音場 (スペース) を車室内に再現できます。[初期設定 : SPACE OFF]

SPACE ボタン を押してから , D.J エンコーダーを回す。

- 右に回すと , 次のように切り替わります。(左に回す : 逆回り)

SPACE OFF	LIVE HOUSE	CONCERT HALL
CINEMA		JAZZ CLUB
VOCAL	DISCO	STADIUM

- 音場を設定すると , SPACE インジケーターが点灯します。



お知らせ

ダイレクトメモリーで放送局を受信しているときは , SPACE (音場) の設定が無効になります。(P.48 参照)